

2022年度 第45回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会水球 【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2023/3/30】

**A3位**

金沢ジュニア 2

0	-	2
0	-	4
1	-	2
1	-	3

11 京都踏水会

PSO

審判： 太田 一誠  
 榑淵 祐希

金 沢 ジ ュ ニ ア	7	SH数	20	京 都 踏 水 会
	1	速攻数	3	
	3	ST・SB	10	
	3	SH・P誘発アシスト	5	
	39%	GK阻止率	50%	
3	EX反則数	6		

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
金沢ジュニア	64	23	27	25	16	46	10	15	30	28.6%

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
京都踏水会	84	30	19	11	24	55	9	18	11	71.8%

**【試合の流れ】**

厳しい試合を競り勝ってきた金沢。強豪相手にはまだ歯が立たないが、②木村のボール奪取力からのチャンス⑤古山が確実に決めるというパターンが強み。こうした展開に持ち込めれば勝負になる。対する京都の持ち味はGKを含めた堅守。金沢は京都の鉄壁のディフェンスをどこまで崩せるかがポイントとなる3位決定戦。

1P

序盤は金沢、踏水会ともにディフェンス意識が高く、決定機を得るまでには至らない展開で試合がスタート。徐々に力のある踏水会がペースをつかみ、金沢の攻撃時の反則から③松沢がペナルティを誘発すると、⑨前川が力強いシュートを決めて踏水会が先制した。さらに、左サイドの⑬小林が⑨前川からのパスをワンタッチシュートで決めて、金沢0-2踏水会で第1ピリオド終了。

2P

踏水会⑨前川のセンターボールからの攻撃でのシュートを金沢GK①山野がセーブし、カウンター攻撃に出たが、パスミスをしてしまい、そこを起点に踏水会④山根が3点目を決め、完全な踏水会ペースとなった。踏水会⑨前川は相手マークに乘られながらも大きな体格と力強い筋肉で軽く回し込むと、キーパーの意表を突くループシュートを決めて踏水会4点目。その後も踏水会は⑨前川にボールを集めて、みるみる点差を離していき、金沢0-6踏水会で第2ピリオド終了。金沢の攻撃時ミスから踏水会がこのピリオド4得点し、一気に突き放した形となった。

3P

なかなか突破口を見出せない金沢だったが、踏水会のミスから金沢②木村がボールを奪ってから退水を誘発し、そこを⑤古山が確実に決めて、ようやく1点を返した。この得点を機に流れを引き戻したかった金沢だが、パスミスが続き、踏水会が連続得点してさらに点差を広げられて劣勢に。踏水会は⑨前川を中心とした攻撃で得点を重ね、金沢1-8踏水会と点差が開いた形で最終ピリオドを迎えた。

4P

ピリオド開始早々に踏水会⑨前川の中央6m付近から豪快なシュートが炸裂して8点差。更に突き放しにかかる踏水会だったが、その後は金沢GK⑬昔の2連続セーブなどで金沢も必死に守る場面が続いた。踏水会は得点できない中でも焦ることなく鉄壁なディフェンスを披露し、金沢の反撃をピリオド終盤の⑦松本の1点に留め、金沢2-11踏水会で試合終了。第3位の座は京都踏水会となった。